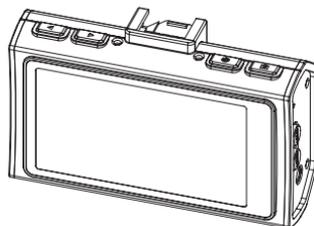
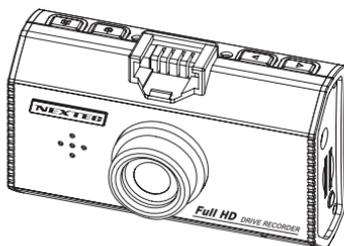


ドライブレコーダー
NX-DR201DRT

取扱説明書



このたびは NX-DR201DRT をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、大切に保管していただき、その都度ご参照ください。

本製品は DC12V/24V 車 (マイナスアース) 専用です

目次

必ずお読みください

安全についてのお願ひ・ご注意	3
免責について	4
個人情報の保護について	4
バックアップ電源について	5
microSD/SDHC カードに関するご注意	5
LED 式信号機について	6
パソコンで映像の再生をする場合の動作環境	6
もしも事故が起きてしまったら	6

準備する

同梱品を確かめる	7
各部の名称	8

設置と接続

カー電源コードの接続	9
車へ取り付ける	11

はじめにすること

1. SD カードを挿入する	14
2. 本体の電源を入れて内蔵電池を充電する	15
3. 日時を確認する	16
4. SD カードのフォーマット	17
5. パーキングモードの設定	18
1. 保存領域の設定	18
2. 動体検知の設定	21
3. 駐車ブロック時間の設定	22
4. 駐車ブロック電圧の設定	23
5. 駐車ブロック温度の設定	24

撮る

録画を開始する	25
1. 常時録画	26
2. 衝撃録画	26
3. 手動録画	27
4. 駐車録画	28
録画を停止する(駐車録画以外)	29
SD カードが2枚挿入時のエラー判別	29

見る

本体で見る	30
1. 常時録画の再生	30
2. 衝撃録画の再生	32
3. 手動録画の再生	33
4. 駐車録画の再生	34
5. その他の機能	35
パソコンで見る	36
外部モニターで見る	38

GPS 機能を使う

速度超過警報	39
車線逸脱警報	40
車間距離警報	43
出発遅延警報	44
専用ビューアー画面で詳細な情報を見る	45

その他の機能

初期化(リセット)について	46
ボタン操作を無効にする	46
本体ソフトウェアのアップデート	47

各種設定

1. ビデオメニュー	48
2. 設定メニュー	52

記録時間の目安

故障かな?と思ったら

主な仕様

保証規定 / 保証書

裏表紙

必ずお読みください

安全についてのお願い・ご注意

本機を安全にご使用いただくには、正しい使い方と安全に関する注意事項をお守りいただくことが必要です。本書では、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



警告

この表示の欄を守らないと火災・感電及びその他の危険により死亡や大けがの原因となります。



注意

注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



警告



- 運転の妨げにならない場所に取り付ける

本機は、運転の妨げにならないように、取り付けてください。また、取り付ける際に、本機が落下しないように十分ご注意ください。万が一落下した場合でも、運転の支障にならない場所をお選びください。



- ケースは絶対にあけないでください

本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障や感電の原因となります。



- 内部に異物を入れない

内部に異物が入ると火災や感電の原因となります。



- 異常があるときはすぐ使用をやめる

発熱、発煙、異臭を感じた時は、直ちに使用を中止して、電源プラグを本体から抜いてください。そのまま使用されますと火災や感電の原因になります。お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。



- 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。



- 本機を濡らさない

水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因になります。



- 車を運転中に本機を操作しない

車を運転中に本機を操作することは交通事故の原因となります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。

必ずお読みください

⚠ 注意



■衝撃や強い振動を加えない

使用している部品が壊れ故障の原因になります。



■使用温度範囲内で使用する

本機の温度保証範囲 (P.58) 以外で使用するると内部の部品に悪影響を与えたり、誤作動の原因となります。特に夏期や直射日光に当たると予想以上に高温になりますので十分ご注意ください。



■高温時の取り扱いに注意する

本機に直射日光が当たっている状態など本機がかなり高温になっているときがありますので触れる際には、十分にご注意ください。



■お手入れの際、電源プラグを抜く

お手入れの際は必ず、電源プラグを本体から抜いてください。また、お手入れには柔らかい布またはティッシュペーパーを使用し、シンナー、ベンジン、アルコール類を使用しないでください。使用するとケースが変形するおそれがあります。



■日本国内で使用する

本機の仕様は日本国内向けとなっています。



■取り付け場所を十分に考慮する

(P.11)

免責について

■免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

1. 本商品に関連して直接または間接に発生した損害・被害、または結果的損害・被害
2. お客様の誤使用や不注意による本製品の障害または破損など
3. お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
4. お客様による映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
5. 記録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

個人情報の保護について

■個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された映像で個人が特定できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

バックアップ電源について

●スーパーキャパシタ

衝撃によってシガー電源が切れた時でも、内蔵のバックアップ電源で録画中のファイルを正常に保存します。バックアップ電源は耐久性に優れたスーパーキャパシタを採用。

●時計用バックアップ充電電池

初めて使用する場合や長期間にわたり使用されなかった場合、本体内蔵の充電電池を充電してください。(20分程度) 充電しても日時が初期値に戻ってしまう場合は内蔵充電電池の寿命です。

※保証期間終了後の内蔵充電電池の交換は有料です。

※内蔵充電電池の寿命は使用環境によって変化します。

microSD/SDHC カードに関するご注意

本説明書では、特にことわりがない場合、「microSD/SDHC カード」を「SD カード」と表記させていただきます。

※ SD カードは消耗品です。

SD カードは書き換え回数に上限があり、書き替えを繰り返すことで正常に保存ができなくなり、データを破損して読み込みもできなくなります。

※ SD カードは消耗品につき初期故障（使用開始後 10 日間）のみ保証します。

※本機以外で使用した SD カードを使用する場合は、必ず SD アソシエーションの SD フォーマッターでフォーマットを行ってください。(P.6 参照)

但し、SD カードによってはフォーマットを行ってもエラーが出る場合がありますが、弊社では一切の責任を負いません。

重要！

SD カードは 1～2 週間を目安に定期的なフォーマットを実施してください。フォーマットを全くしないでご使用し、事故映像等が記録されない場合、弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※ SD カードが寿命を迎えている場合、または正常に記録されない場合の動作例

・記録が開始されない

・“SD カードが挿入されていません” と表示される

フォーマットをしても異常が起こる・フォーマットできないなどの症状が出た場合は、SD カードを交換してください。

SD カードの寿命は概ね 3 ヶ月から 1 年程度です。(ドライブレコーダーのご使用状況(ご使用時間)により SD カードの寿命は変動します。この期間、また本製品の保証期間でカードの寿命を保証するものではありません)

また 1 年を経過したものはたとえ問題が無くても交換されることをお勧めします。

必ずお読みください

フォーマットの方法

●パソコンをお持ちの方

SD カードをパソコンで読み取れるかどうか・動画の再生ができるかどうかを確認しフォーマットを行ってください。SD カードのフォーマットは、SD アソシエーションのウェブサイトから SD フォーマッターをダウンロード・インストールして行ってください。

●パソコンをお持ちでない方

ドライブレコーダーの再生モードで記録した映像を再生して問題が無いことを確認してください。その後、本体のメニューにフォーマットの項目がありますので、フォーマットを行ってください。(P.17、P.52、P.54 参照)

LED 式信号機について

LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、記録映像で信号機が点滅しているように見える場合があります。

パソコンで映像の再生をする場合の動作環境

- ・ Windows Vista/7/8/10 (32/64bit) がインストールされたパソコン。
- ・ AVI(H.264) 動画再生ソフトがインストールされていること。(再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません)
- ・ USB2.0 インターフェースもしくは microSD/SDHC カードリーダーを備えていること。
- ・ それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

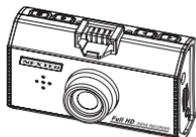
もしも事故が起きてしまったら・・・

記録を停止しない限り、撮影を続けるため事故時の映像が上書きされてしまう場合があります。必ず撮影を停止し、本機から SD カードを取り出してケースなどで保護して保管してください。

準備する

同梱品を確かめる

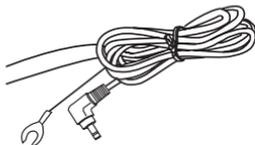
お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。
内容をご確認ください。



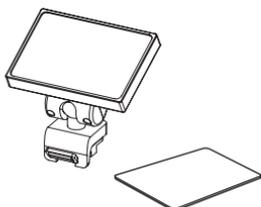
本体 (1 台)

ご注意

本体のレンズ部と液晶パネルには保護フィルムを貼ってあります。



カー電源コード (約 4m)
(1 本)



GPS ユニット内蔵取付ステー (1 個)
ステー固定用両面テープ (1 枚)



エレクトロタップ (2 個)



32GB microSDHC カード (1 枚)



AV 変換ケーブル (1 本)

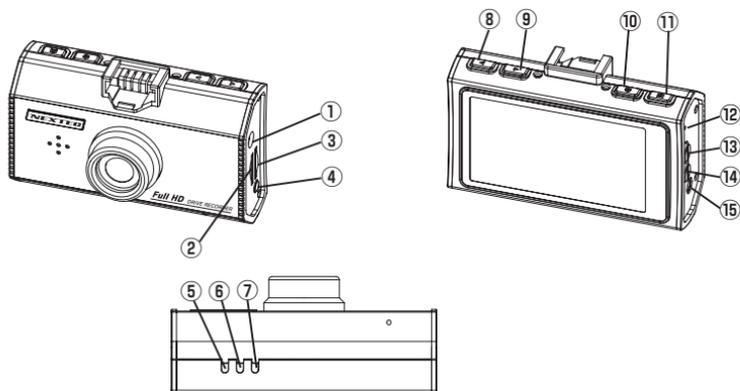


取扱説明書 (本冊子)
保証書付 (1 冊)

※本文のイラストはイメージです。実際と異なる場合があります。

準備する

各部の名称



- ① **電源端子**
電源入力は DC12/24V です。
必ず付属のカー電源コードを接続してください。
- ② **microSD/SDHC カード挿入部 1**
microSD/SDHC カードを挿入します。
(最大 32GB)
- ③ **microSD/SDHC カード挿入部 2**
microSD/SDHC カードを増設できます。
(最大 32GB)
※挿入部 1 と 2 の合計で最大 64GB
まで。
- ④ **キーロックボタン**
2 秒以上の長押しでボタン操作が無効になります。
- ⑤⑥⑦ **動作ランプ**
各種動作により点灯 / 点滅。
- ⑧ **DOWN ボタン**
設定項目 / 内容の選択。再生中の逆方向倍速設定。
- ⑨ **UP ボタン**
設定項目 / 内容の選択。再生中の順方向倍速設定。
- ⑩ **電源ボタン**
短押しで電源 ON、2 秒以上の長押しで電源 OFF。
- ⑪ **記録 / 確定ボタン**
録画の停止 / 開始及び再生の開始 / 停止。
設定時の確定をします。
- ⑫ **リセットホール**
本製品が正常に動作しない場合やフリーズした場合に初期化をします。
(P. 46 参照)
- ⑬ **MENU ボタン**
設定画面の表示 / 手動ロックファイル。
- ⑭ **MODE ボタン**
動画 / 再生モードの切り替え。
- ⑮ **AV 出力端子**

設置と接続

お願い

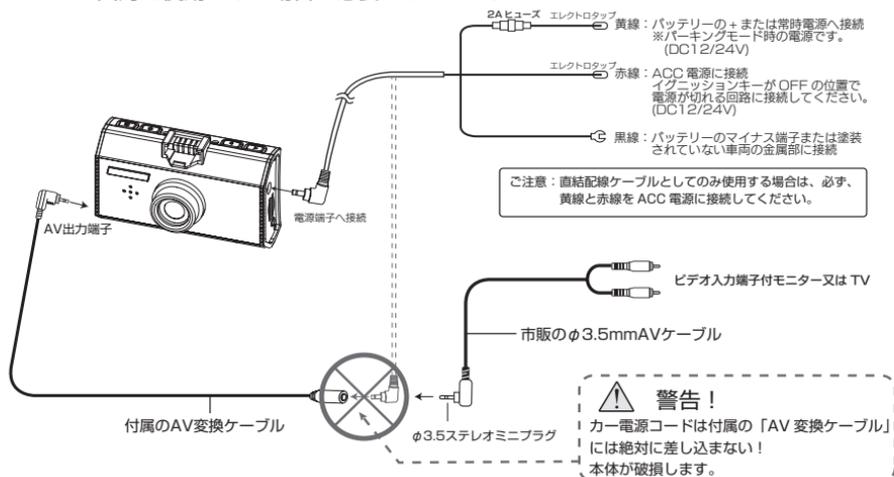
- 配線・取り付け / 取り外しは専門技術者に依頼してください。取り付けと配線は専門的な技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 正式に取り付ける前に仮止め、仮設置をし基本動作や配線が正常にできることを確認してください。また、車の電装品が正常に動作することも確認してください。
- 配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。ただし、バックアップが必要な機器が取り付けられている場合はバッテリーのマイナス端子を外さないでください。この場合は専門店などへご相談ください。

カー電源コードの接続

- 本製品はカー電源コードを常時電源、ACC 電源に接続することにより、駐車時の衝撃 / 動体検知の録画ができます。(パーキングモード)
- 駐車時録画の必要のない場合は常時電源線(黄色)をACC電源に接続してください。
- パーキングモードの保存領域は設定により変更できます。(P.18 保存領域設定参照)

■接続図

- カー電源コードは本体の電源端子に接続してください。
- 付属の AV 変換ケーブルは市販のφ 3.5mmAV ケーブルを接続するとき 사용합니다。
※ AV 出力を使用しない場合は必要ありません。



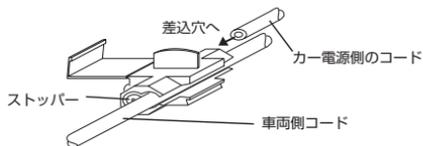
設置と接続

■エレクトロタップを使った接続方法

●エレクトロタップを使った接続

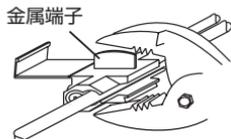
GND(黒線)以外は付属のエレクトロタップを使って接続してください。

1. 車両側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、カー電源コード側のコードを差し込み穴からストッパーまで挿入します。



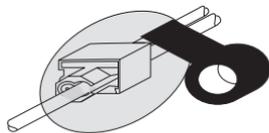
エレクトロタップの対応線材は、
断面積0.2~0.8mm²
(AWG#18~#24)です。

2. プライヤー等で金属端子を完全に押し込み、接続後にカバーを倒しロックします。



3. 最後に市販の絶縁テープを巻いて接続部を保護します。

グレーの部分全体にテープを巻いてください



車へ取り付ける

取り付け上のご注意

本製品は道路運送車両法・保安基準第 29 条の前面ガラス装着規制対象外です。但し、設置場所はフロントウィンドウの開口部上端から下方向に 1/5 以内の場所に限ります。装着後運転の邪魔にならないか、ルーム ミラーの操作の妨げにならないか等十分に確認してから使用してください。

■車を平らで安全な場所に駐車して作業をしてください。

■配線後のコードが運転の支障にならないように固定してください。

■道路運送車両法・保安基準に適合するように、フロントガラスに取り付けてください。

■取り付け位置はフロントウィンドウの開口部上端から上下方向に 1/5 以内の場所、もしくは運転席側から見てルームミラーに隠れる場所に取り付けをしてください。

■レンズ部分がワイパーでふき取れる部分になる位置にくるよう取り付けください。

■点検シールや車検標章などと重ならないようにしてください。

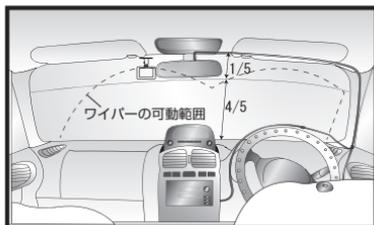
■両面テープを貼り付ける際、接着面の汚れや湿気をよく取り除いてから行ってください。特に湿度の高い日はデフロスター（曇り止め）等で湿度を下げてから行ってください。また最初にセロテープ等で仮止めをしてから貼ることをおすすめします。

■貼り付け直後は十分な接着力が得られません。テープ本来の接着力を得るには 24 時間程度必要です。

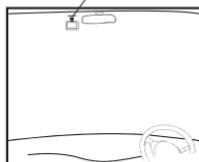
■接着力が高いため、はがす場合には接着面を傷める可能性があります。

■あらかじめモニターで撮影範囲を確認の上、取り付けしてください。

■ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。



中心より少し左側



水平より少し下向き



<トラックの場合の取り付け参考例>

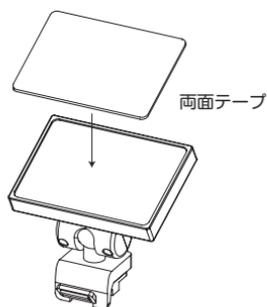
■前方がしっかりと見える場所に取り付けてください。

⚠注意

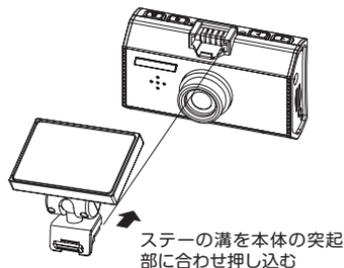
カーナビゲーション、ETC、地デジチューナーやそれらのアンテナなど電波を受信する機器から離して取り付けてください。

設置と接続

1. 取り付けステーに付属の両面テープを貼り付ける（取り付けステーのくぼみに合わせて貼ってください）

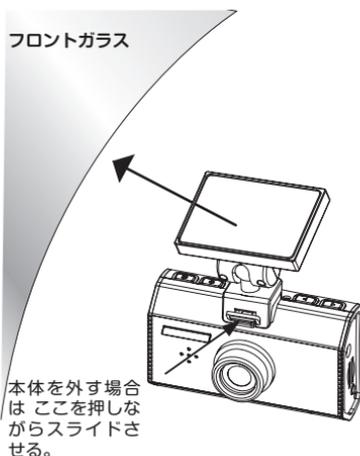


2. 本体の取り付けステー装着部の突起部にステーの溝を合わせ“カチッ”と音がするまで押し込む

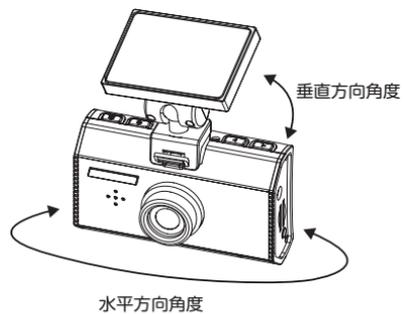


3. 車両の中央部から助手席側の運転に邪魔にならない場所をあらかじめ確認して、レンズを進行方向に向けてフロントガラスに貼り付ける

“車線逸脱警報 (P.40)” “車間距離警報 (P.43)” “出発遅延警報 (P.44)” の機能を使用する場合、取付位置が車両中央から著しく離れた場所に取り付けると、正確度が低下することがあります。



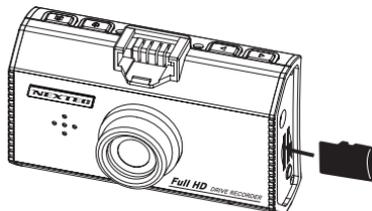
4. 水平方向、垂直方向の角度を合わせる



はじめにすること

1.SD カードを挿入する

SD カードのラベル面をレンズ側にして本体のカード挿入部 1 に“カチッ”と音がするまで挿入します。必ずカードの向きに注意し無理に入れないでください。また、カードを抜く場合にも同様に“カチッ”と音がするまで押してから引き抜いてください。



- ※ SD カード容量を増やしたい場合は、挿入部 2 にも入れてください。
- ※ SD カードの最大容量は挿入部 1、2 ともに 32GB までです。
1 と 2 の合計で最大 64GB までです。
- ※ SD カードを 2 枚使用時、再度挿入するとき、1 と 2 が入れ替わっても動作等に影響はありません。
- ※ SD カード挿入部 2 のみでは記録できません。SD カード 1 枚で使用する場合は、必ず挿入部 1 にカードを挿入してください。

重要!

⚠注意

- SD カードを抜く場合は本機の電源が切れていること、または録画が停止していることを確認してから行ってください。SD カード破損の原因となることがあります。
- SD カードは消耗品です。ドライブレコーダでご使用の場合耐用年数は 3 ヶ月から 1 年です。3 ヶ月から 1 年毎に新しい microSDHC カードと交換することをお勧めします。
- SD カードは書き換え回数に上限があり、書き替えて繰り返すことで正常に保存ができなくなり、データを破損して読み込みもできなくなります。1 ～ 2 週間を目安に本体またはパソコンでフォーマットを行ってください。
- 同梱以外の SD カードを使用する場合も必ずフォーマットをしてください。また、SD カードメーカーによっては性能を発揮できない場合がありますので、あらかじめテスト撮影を行ってください。(推奨 microSDHC カード: 4 ～ 32GB の Class10 以上)
- 小さなお子様のいらっしゃるご家庭では手の届かないところで保管してください。

2. 本体の電源を入れて内蔵電池を充電する

初めて使用する場合や長期間にわたり使用されなかった場合、本体を接続し、エンジンをかけて 20 分程度充電してください。充電しても日時が初期値に戻ってしまう場合は内蔵充電電池の寿命です。

※保証期間終了後の内蔵充電電池の交換は有料です。

※内蔵充電電池の寿命は使用環境によって変化します。

1. SD カードを挿入する

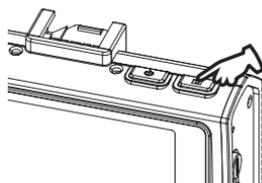
2. カー電源コードのプラグを本体と接続する (P.9 参照)

3. 車のエンジンをかける

自動的に電源が入り充電が行われます。録画も自動的に始まります。

※録画中は録画マークが赤で点滅します。記録 / 確定ボタンを押すと録画が停止します。但し、約 30 秒間の無操作が続くと録画を開始します。

録画マーク
赤で点滅中は録画中



ご注意！

※ 運転する機会が少ない場合は、充電不足になります。定期的に充電を行ってください。

はじめにすること

3. 日時を確認する

本製品は GPS を搭載しており、GPS を測位すると、自動的に日時を取得できます。一度、日時を取得すれば、GPS が測位していない状況でも日時は内蔵電池で保持されます。

1. GPS 測位していることを確認する

GPS が測位していないときは、本体の画面の GPS アイコンが白で点灯。

GPS を測位すると、GPS アイコンが緑で点灯し、音声で“GPS を測位しました”とアナウンスします。同時に速度が表示されます。

緑で点灯

2. 日時を確認してください



ご注意

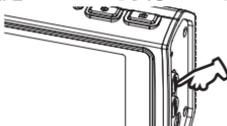
- ・ 本体周辺部に金属やゴムなどの障害物がこないようにしてください。
- ・ GPS 測位の完了まで時間がかかる場合があります。また、走行中にも受信しにくい場合もあります。
(高速道路の高架下等は GPS が受信しにくい場所にあたります)
- ・ GPS ユニットの抜き差しをする場合は本体の電源を OFF にしてください。

4. SD カードのフォーマット

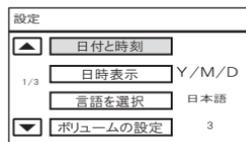
1. 録画が停止していることを確認する

録画中の場合は、記録 / 確定 ボタンを押して停止してください。

2. MENU ボタンを2回押して設定メニューを表示させる

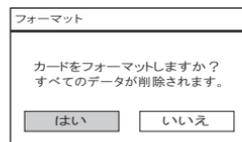
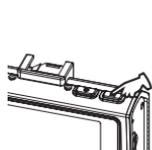
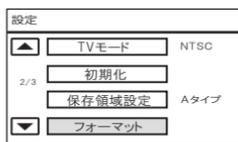
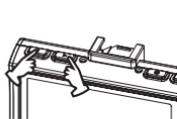


設定メニュー

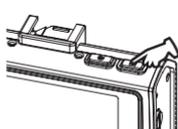
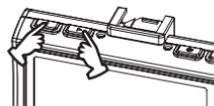


3. ◀ ▶ ボタンで“フォーマット”を選択し、記録 / 確定 ボタンを押す

フォーマットの画面が表示されます。



4. ◀ ボタンで“はい”を選択し、記録 / 確定 ボタンを押す



「SD カードをフォーマット中です」が表示され、「ファイルをすべて削除します」とアナウンスされます。続けて「SD カードの完全フォーマット」が表示され、「ファイルをすべて削除しました」とアナウンスされ、設定メニューに戻り、フォーマット完了です。



5. MENU ボタンを1回押して、終了する

※ SD カードを2枚挿入した時も必ずフォーマットしてください。

※ SD カードは定期的にフォーマットを行ってください。

フォーマットをしないと、メモリーエラーが出たり、正常に記録ができなくなります。(P.5 参照)

はじめにすること

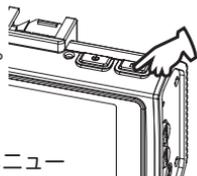
5. パーキングモードの設定

駐車中の衝撃 / 動体検知の録画を行う場合は、はじめに設定を行ってください。

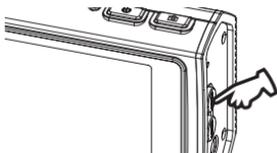
1. 保存領域の設定 (必ず最初に設定してください)

1. 録画が停止していることを確認する

録画中の場合は、記録 / 確定 ボタンを押して停止してください。



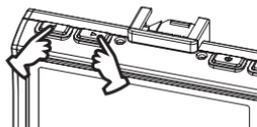
2. MENU ボタンを2回押して設定メニューを表示させる



設定メニュー

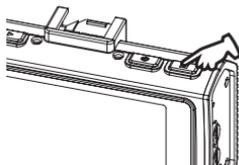
設定	
▲	日付と時刻
1/3	日時表示 Y/M/D
	言語を選択 日本語
▼	ボリュームの設定 3

3. ◀ ▶ ボタンで“保存領域設定”を選択し、記録 / 確定 ボタンを押す



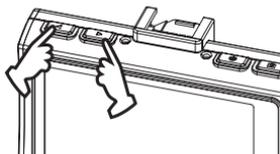
設定	
▲	TVモード NTSC
2/3	初期化
	保存領域設定 75/20/5/0
▼	フォーマット

保存領域設定画面が表示されます。



保存領域設定	
75/20/5/0	60/20/5/15
20/75/5/0	20/60/5/15
20/20/5/55	
常時/衝撃/手動/駐車 %	

4. ◀ ▶ ボタンで保存領域を選択する



●保存領域には録画方法別に、常時録画 / 衝撃録画 / 手動録画 / 駐車録画があります。

- 常時録画・・・録画繰り返し時間 1 分ごとにファイルを作成し、連続撮影をします。領域がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。(P. 26 参照)
- 衝撃録画・・・G センサーが設定値以上の衝撃を検知すると、衝撃発生前 5 秒と発生後 25 秒の計 30 秒を記録します。領域がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。(P. 26 参照)
- 手動録画・・・“MENU” ボタンを押すことで、任意に記録をすることができます。ボタン押下前 5 秒と押下後 25 秒の計 30 秒を記録します。領域がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。(P.27 参照)
- 駐車録画・・・エンジン停止後の駐車中に衝撃または動体検知があると、発生前 6 秒と発生後 30 秒の計 36 秒を記録します。領域がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。(P. 28 参照)

保存領域設定では SD カード容量の各領域の保存割合を選択できます。

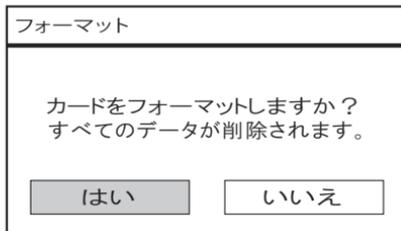
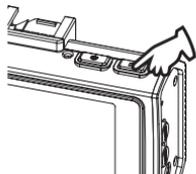
- ・75/20/5/0・・・常時録画：SD カード容量の約 75% 衝撃録画：SD カード容量の約 20%
(初期設定) 手動録画：SD カード容量の約 5% 駐車録画：0%(録画できません)

保存割合(常時/衝撃/手動/駐車)%
75/20/5/0 (初期設定)
60/20/5/15 (駐車録画可能)
20/75/5/0
20/60/5/15 (駐車録画可能)
20/20/5/55 (駐車録画可能)

※パーキングモードを有効にするには“60/20/5/15”“20/60/5/15”“20/20/5/55”を選択してください。

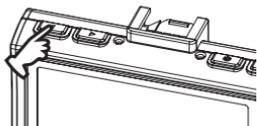
はじめにすること

5. 記録 / 確定 ボタンを押す

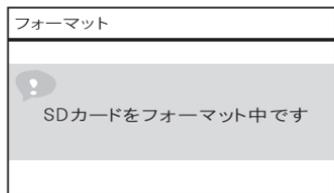
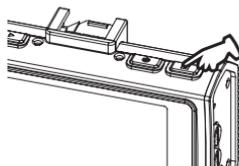


フォーマット画面が表示されます。保存領域を変更する場合は、SD カードをフォーマットする必要があります。大切なデータはパソコン等に保存してください。

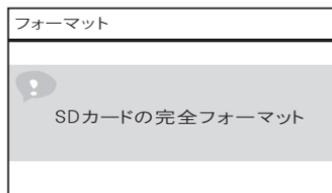
6. ◀ ボタンで“はい”を選択し、記録 / 確定 ボタンを押す



フォーマットを開始します。



“ファイルをすべて削除します”とアナウンスします。



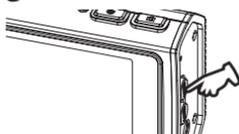
“ファイルをすべて削除しました”とアナウンスします。

7. 保存領域が設定され、設定メニューに戻ります

8. MENU ボタンを1回押して、終了する

2. 動体検知の設定

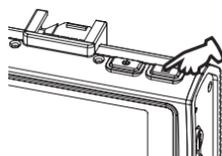
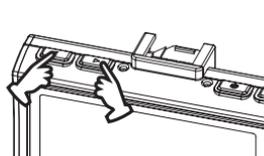
1. **MENU** ボタンを押し、ビデオメニューを表示する



ビデオ		
▲	画質設定	FHD
1/4	明るさの設定	0
	G-SENSOR感度	3
▼	動体検知	3

2. **◀ ▶** ボタンを押し、“動体検知”を選択して **記録/確定** ボタンを押す

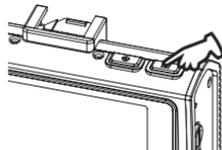
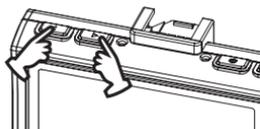
動体検知設定画面になります。検知感度を設定します。数値が大きいほど敏感度です。



動体検知	
OFF	1
2	3

※初期値は3

3. **◀ ▶** ボタンを押し、お好みの設定を選択して **記録/確定** ボタンを押して確定させる



4. 設定が確定され、ビデオメニューに戻ります

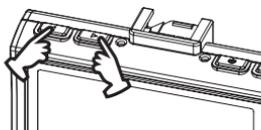
はじめにすること

3. 駐車ブロック時間の設定

駐車時の監視時間を設定します。設定時間を超えると本体の電源が OFF します。

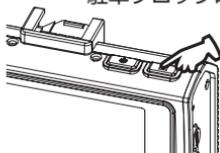
※バッテリーが劣化している車両は長時間の設定は避けてください。

1. ビデオメニューから ◀ ▶ ボタンで“駐車
ブロック時間”を選択する



ビデオ		
▲	音声録音	ON
2/4	駐車ブロック時間	6H
	駐車ブロック電圧	24.2V
▼	駐車ブロック温度	70°C

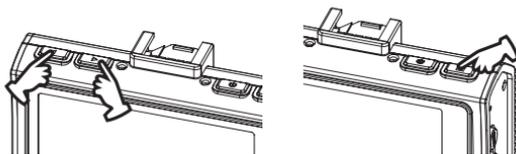
2. 記録 / 確定 ボタンを押す
駐車ブロック時間設定画面になります。



駐車ブロック時間	
6H	12H
24H	48H

3. ◀ ▶ ボタンを押し、お好みの設定を選択
して 記録 / 確定 ボタンを押して確定させる

※初期値は 6H

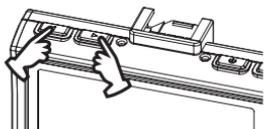


4. 設定が確定され、ビデオメニューに戻ります

4. 駐車ブロック電圧の設定

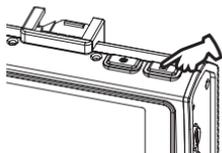
バッテリー電圧の設定。(バッテリー上がりを防止する設定)
設定電圧以下になると、本体の電源が OFF します。

1. ビデオメニューから ◀ ▶ ボタンで“駐車
ブロック電圧”を選択する



ビデオ		
▲	音声録音	ON
2/4	駐車ブロック時間	6H
	駐車ブロック電圧	24.2V
▼	駐車ブロック温度	70°C

2. 記録 / 確定 ボタンを押す



駐車ブロック電圧設定画面になります。

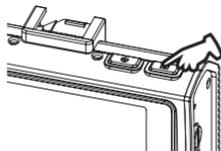
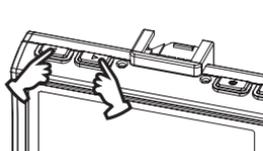
※ 12V 車の場合は、
11.8V/12.0V/12.2V/12.4V/12.8V
と表示されます。(初期値は 12.2V)

※設定手順は高い電圧から設定を始め、車両に
合う電圧に切り替えてください。

駐車ブロック電圧	
24.8V	24.4V
24.2V	24.0V
23.8V	

※初期値は 24.2V(24V 車の場合)

3. ◀ ▶ ボタンを押し、お好みの設定を選択
して 記録 / 確定 ボタンを押して確定させる



4. 設定が確定され、ビデオメニューに戻ります

ご注意

※ 駐車時のバッテリー電圧が設定値以下の場合、パーキングモードは動作しません。

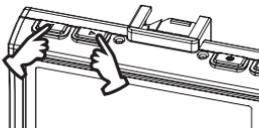
※ 設定値が 23.8V(11.8V) でもパーキングモードが動作せず、電源が OFF (全てのランプが消灯) となる場合は、
使用できません。バッテリーが劣化している可能性があります。バッテリーチェックを行ってください。

はじめにすること

5. 駐車ブロック温度の設定

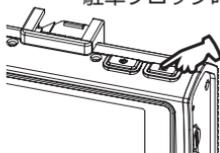
駐車時の本体温度の異常上昇を監視する設定。本体の温度が設定値以上になると、本体の電源が OFF します。

1. ビデオメニューから ◀ ▶ ボタンで“駐車ブロック温度”を選択する



ビデオ		
▲	音声録音	ON
2/4	駐車ブロック時間	6H
	駐車ブロック電圧	24.2V
▼	駐車ブロック温度	70°C

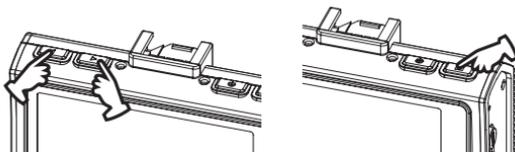
2. 記録 / 確定 ボタンを押す
駐車ブロック時間設定画面になります。



駐車ブロック温度	
60°C	70°C
80°C	85°C

3. ◀ ▶ ボタンを押し、お好みの設定を選択して 記録 / 確定 ボタンを押して確定させる

※初期値は 70°C



4. 設定が確定され、ビデオメニューに戻ります

5. MENU ボタンを 2 回押して、終了する

撮る

録画を開始する

SD カードを挿入し、車のエンジンをかける

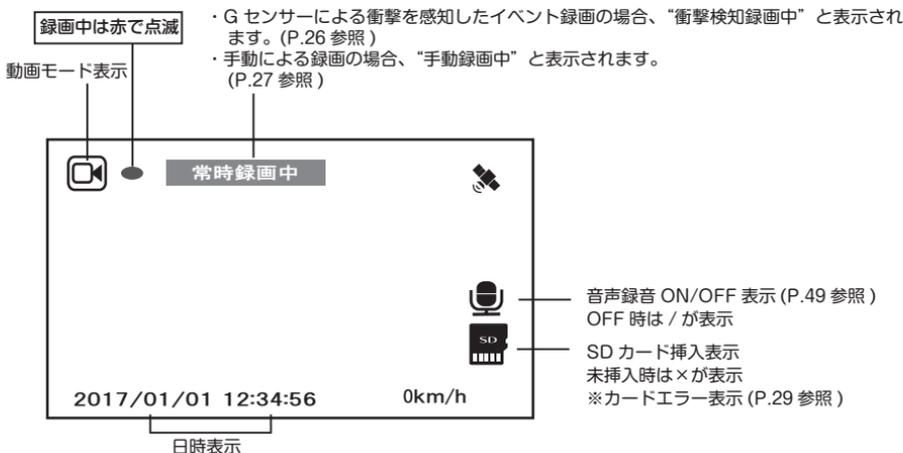
外部からの電源が供給されると、自動的に電源が入り記録が開始されます。

※記録を開始すると、音声案内で“常時録画を開始します”とアナウンスします。

録画が開始されると、画面の録画マークが点滅を開始し、本体の動作ランプ⑦が緑で点灯します。

※ SD カードを挿入しないで電源を入れると録画は開始しません。「SD カードが挿入されていません」のメッセージ表示と音声案内で“microSD カードがありません。microSD カードを挿入してください”とアナウンスします。SD カードを挿入すると、録画を開始します。

録画面面



撮る

1. 常時録画

常時録画は SD カード容量の設定保存領域内で録画繰り返し時間 1 分ごとにファイルを作成し、連続撮影をします。

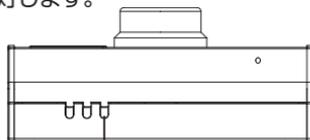
領域がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。

常時録画中は画面に「常時録画中」と表示が出ます。



※常時録画を開始すると、音声案内で“常時録画を開始します”とアナウンスします。

※常時録画中は本体の動作ランプ⑦が緑で点灯します。



緑で点灯

2. 衝撃録画 (G センサーによる衝撃検知)

衝撃 (イベント) 録画は SD カード容量の設定保存領域内で G センサーが設定値以上の衝撃を検知すると、衝撃発生前 5 秒と発生後 25 秒の計 30 秒を記録します。

領域がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。

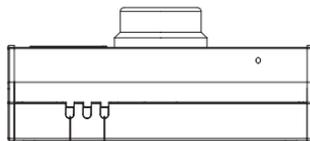
※ G センサーの感度設定は P.49 参照。

衝撃録画中は画面に「衝撃検知録画中」と表示が出ます。



※衝撃録画中に再度、衝撃を検知すると最大 2 分間記録します。

※衝撃録画中は本体の動作ランプ⑥が橙で点灯、⑦が緑で点灯します。



橙で点灯 緑で点灯

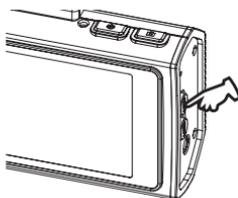
3. 手動録画

手動録画はSDカード容量の設定領域内でボタンを押すことで、任意に記録を保存することができます。ボタン押下前5秒と押下後25秒の計30秒を記録します。領域がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。

■手動録画の方法

MENU ボタンを押すと手動録画を開始します。

※手動録画を開始すると、音声案内で“手動録画を開始します”とアナウンスします。

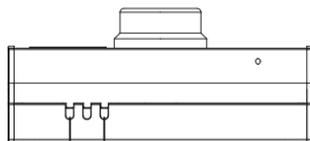


手動録画中は画面に「手動録画中」と表示が出ます。



※手動録画中に再度、MENU ボタンを押すと最大2分間記録します。

※手動録画中は本体の動作ランプ⑤が橙で点灯、⑦が緑で点灯します。



橙で点灯 緑で点灯

撮る

4. 駐車録画

駐車録画は SD カード容量の設定保存領域内で衝撃または動体検知があると、発生前 6 秒と発生後 30 秒の計 36 秒を記録します。

領域がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。

※駐車録画をする場合は、あらかじめ電源の接続と設定が必要です。(P.9、P.18 参照)

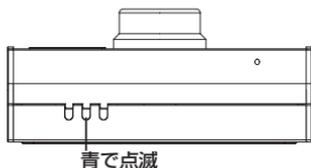
※録画中に再度、検知すると最大 100 秒間記録します。

※衝撃の感度は固定です。(0.2G)

■ 駐車録画の方法

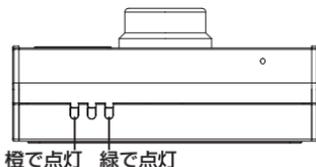
1. エンジンを停止する (ACC を OFF)

しばらくすると (約 10 秒) 液晶画面が消え、“パーキングモードを開始します” とアナウンスが流れ、本体の動作ランプ⑥が青で点滅します。(待機状態)



2. 衝撃または動体検知があると録画を開始します

本体の動作ランプ⑥が橙で点灯、⑦が緑で点灯します。



3. 駐車録画の終了

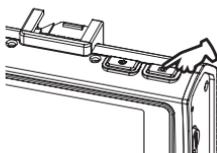
エンジンをかける (ACC を ON)

ACC を ON にすると液晶画面が表示され、常時録画を開始します。

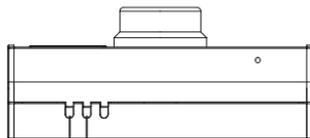
録画を停止する（駐車録画以外）

1. 記録 / 確定 ボタンを押す

記録 / 確定ボタンを押すと録画が停止します。



※録画停止中は本体の動作ランプ⑤が橙で点灯、⑥が青で点灯します。



橙で点灯 青で点灯

※「記録 / 確定」ボタンで録画を停止した場合は、画面に「スタンバイ」と表示されます。再度、「記録 / 確定」ボタンを押すと録画を開始します。（録画オートレジューム機能により無操作が約 30 秒間続いても自動的に録画を開始します）

※衝撃（イベント）録画、手動録画中は録画を停止することはできません。

SD カードが2枚挿入時のエラー判別

・SD カードを2枚挿入して、カードエラーが発生した場合、挿入部1のエラーか挿入部2のエラーかの判別は、画面のSDカードアイコンで確認できます。

【正常な場合】



【1がエラーの場合】



“SDカードエラーです”
とアナウンスされます。
「SDカード1を再挿入して下さい」
と表示されます。

【2がエラーの場合】



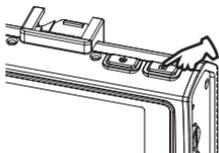
“SDカードエラーです”
とアナウンスされます。
「SDカード2を再挿入して下さい」
と表示されます。

※エラーのカードをフォーマットして復元できる場合は、カード挿入部1に入れ、フォーマットしてください。フォーマットしてもエラーが出る場合は、SDカードの寿命です。交換してください。

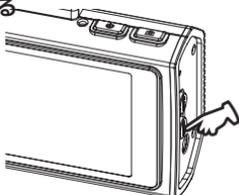
見る

本体で見る

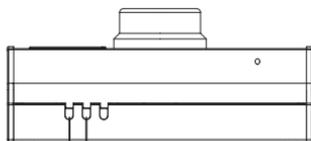
- 録画中は、**記録 / 確定** ボタンを押して録画を停止する



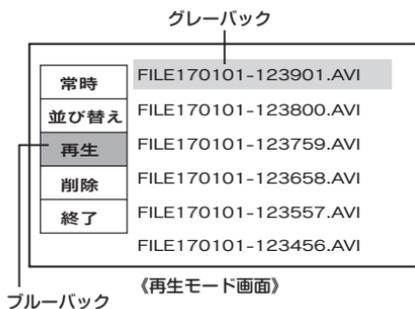
- MODE** ボタンを押して再生モード画面にする



※再生モード中、再生中は本体の動作ランプ⑤が橙で点灯、⑥が青で点灯します。



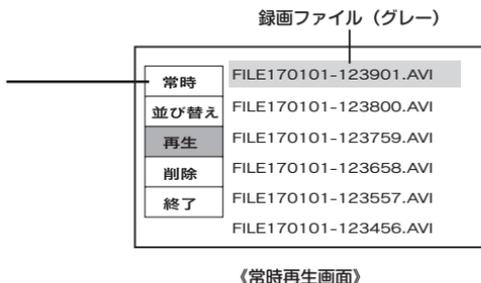
⑤が橙で点灯 ⑥が青で点灯



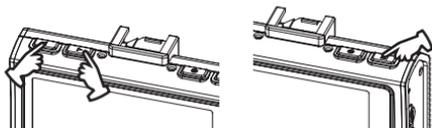
1. 常時録画の再生

- 録画方法が常時になっていることを確認する

※録画方法が常時以外の場合はイベント録画の再生 / 手動録画の再生と同様に録画方法を常時に設定してください。



2. ◀ ▶ ボタンでカーソルを再生 に合わせ、記録 / 確定 ボタンを押す



※再生がブルーバックからブラックバック
に変わります。録画ファイルがグレーバ
ックからブルーバックに変わります。

3. ◀ ▶ ボタンで録画ファイルを 選択し、記録 / 確定 ボタンを押す

※選択したファイルの再生を開始します。
※再生を一時停止するときは、記録 / 確定
ボタンを押してください。

(▶マークが▶||マークに変わります)

※一時停止状態で再度、記録 / 確定ボタ
ンを押すと再び再生を開始します。

ご注意：一時停止状態では録画オートレジ
ューム機能は動きません。(自動録画
を開始しません。)

4. 再生の終了

- (1)再生モード画面になるまで MODE ボタ
ンを押す
- (2)◀ ▶ボタンでカーソルを“終了”合
わせ、記録 / 確定ボタンを押す
- (3)スタンバイ状態になり、しばらくすると
録画を開始します。

※再生モード画面で MODE ボタンを押
してもスタンバイ状態になります。

録画ファイル (ブルー)

常時	FILE170101-123901.AVI
並び替え	FILE170101-123800.AVI
再生	FILE170101-123759.AVI
削除	FILE170101-123658.AVI
終了	FILE170101-123557.AVI
	FILE170101-123456.AVI

ブラック

ファイル名

常時録画が記録されると下記のファイル名で保存
されます。

FILE170101-123456.AVI

西	月	日	時	分	秒	動画
---	---	---	---	---	---	----

再生中画面

▶	65/70	
再生中のファイル NO.		総ファイル数
		録画時間
FILE170101-123456.AVI	00:00:17/00:01:00	
ファイル名	再生時間カウンター	

2. 衝撃録画の再生 (G センサーによる衝撃検知)

1. 録画方法を衝撃 (イベント) にする

※録画方法が衝撃以外の場合は再生モード画面で変更します。

(1) ◀ ▶ ボタンでカーソルを録画方法に合わせる

(2) 記録 / 確定ボタンを押す
録画方法設定画面になります。

(3) ◀ ▶ ボタンでカーソルを“衝撃”に合わせる

(4) 記録 / 確定ボタンを押す
衝撃 (イベント) 再生画面になります。

録画ファイル (グレー)

常時	FILE170101-123901.AVI
並び替え	FILE170101-123800.AVI
再生	FILE170101-123759.AVI
削除	FILE170101-123658.AVI
終了	FILE170101-123557.AVI
	FILE170101-123456.AVI

常時	常時
並び替え	駐車
再生	衝撃
削除	手動
終了	

ファイル名

衝撃 (イベント) 録画が記録されると下記のファイル名で保存されます。

EMER170102-123456.AVI

西暦	月	日	時	分	秒
					動画

衝撃	EMER170102-123901.AVI
並び替え	EMER170102-123800.AVI
再生	EMER170102-123759.AVI
削除	EMER170102-123658.AVI
終了	EMER170102-123557.AVI
	EMER170102-123456.AVI

《衝撃 (イベント) 再生画面》

2. 再生方法は常時録画の再生と同様に行ってください (31 ページの 2 以降の操作)

4. 駐車録画の再生

1. 録画方法を駐車にする

※録画方法が駐車以外の場合は再生モード画面で変更します。

- (1) ◀ ▶ ボタンでカーソルを録画方法に合わせる
- (2) 記録 / 確定ボタンを押す
録画方法設定画面になります。
- (3) ◀ ▶ ボタンでカーソルを“駐車”に合わせる
- (4) 記録 / 確定ボタンを押す
駐車再生画面になります。

録画ファイル (グレー)

常時	FILE170101-123901.AVI
並び替え	FILE170101-123800.AVI
再生	FILE170101-123759.AVI
削除	FILE170101-123658.AVI
終了	FILE170101-123557.AVI
	FILE170101-123456.AVI

常時	常時
並び替え	駐車
再生	衝撃
削除	手動
終了	

ファイル名

駐車録画が記録されると下記のファイル名で保存されます。

PARK170102-123456.AVI

┌───┐
┌───┐
┌───┐
┌───┐
┌───┐

西暦
月、日
時、分、秒
動画

駐車	PARK170102-123901.AVI
並び替え	PARK170102-123800.AVI
再生	PARK170102-123759.AVI
削除	PARK170102-123658.AVI
終了	PARK170102-123557.AVI
	PARK170102-123456.AVI

《駐車再生画面》

2. 再生方法は常時録画の再生と同様に行ってください (31 ページの 2 以降の操作)

5. その他の機能

■倍速再生で見る

再生中に◀ ▶ ボタンを押すことで、逆・順方向倍速再生ができます。

- ・▶を押す度に、順方向倍速が × 2, × 4, × 8 と切り替わります。
- ・◀を押す度に、逆方向倍速が × 2, × 4, × 8 と切り替わります。

■並び替え

再生モード画面で“並び替え”を選択して、記録 / 確定ボタンを押す度に録画ファイルの新しい順 / 古い順に並び替えることができます。

■削除

1. 再生モード画面で“削除”を選択し、記録 / 確定ボタンを押す

2. 削除したいファイルを選択し、記録 / 確定ボタンを押す

選択したファイル名が赤くなります。

3. MODE ボタンを押す

“選択したファイルを削除しますか？”と表示されます。

4. 削除する場合は記録 / 確定ボタンを押す。削除しない場合は MENU ボタンを押す

5. 記録 / 確定ボタンを押すと“ファイルの完全削除”が表示されファイルが削除されます

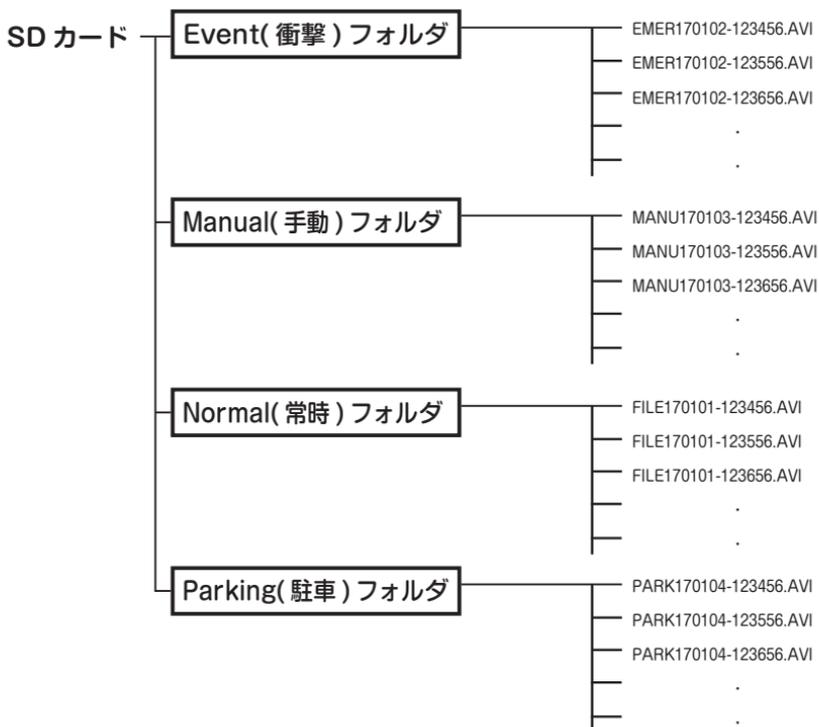
パソコンで見える

パソコンの動作環境

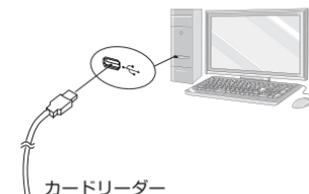
- ・ Windows Vista/7/8/10 (32/64bit) がインストールされたパソコン。
- ・ AVI(H.264) 動画再生ソフトがインストールされていること。
(再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません)
- ・ 再生 PC アプリは、専用ビューアーをお勧めします。(P. 45 参照)
- ・ USB2.0 インターフェースもしくは microSD/SDHC カードリーダーを備えていること。
- ・ それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

フォルダ構成

映像が記録されている SD カード内のフォルダとファイルの構成は下記のとおりです。



1. カードリーダーをパソコンに接続する



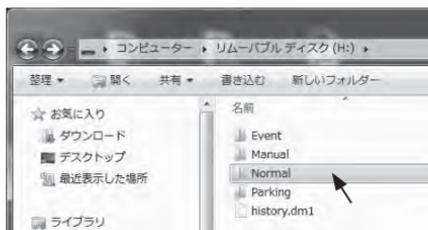
2. SD カードをカードリーダーに挿入する



※ microSD/SDHC を直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーは必要ありません。

3. フォルダがあるリムーバブルディスクを開く

4. “Event” “Manual” “Normal” “Parking” フォルダが表示される 再生したいフォルダを開く

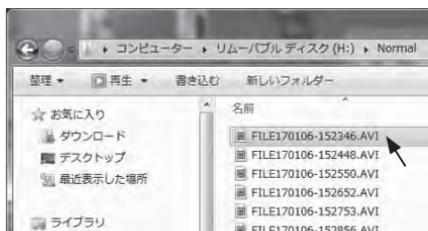


5. 映像ファイルが表示される

※再生したいファイルを開くと動画再生ソフトが立ち上がり、動画の再生が始まります。

※再生 PC アプリは、専用ビューアーをお勧めします。(P.45 参照)

※サードパーティーの動画再生ソフトを使用する場合、再生ソフトによっては映像 / 音声再生されない場合があります。



見る

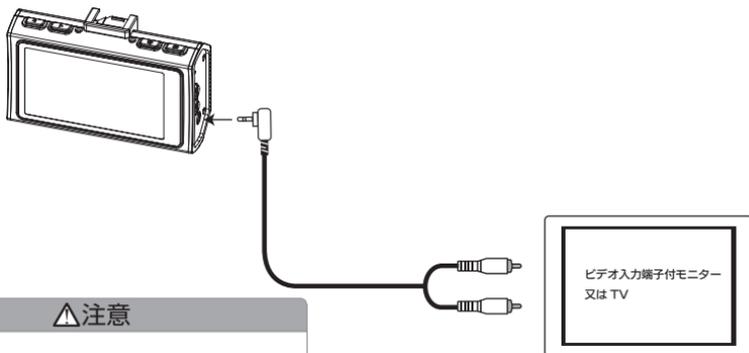
外部モニターで見る

本機の AV 出力端子に市販の AV ケーブルを接続することで外部モニターでリアルタイム映像や再生映像を見ることができます。



2.5mm ステレオ (3 極) ミニプラグ --- RCA ピンプラグ x2 (黄色・白 (または黒)、もしくは赤・白などのケーブルを接続することで、映像を外部に出力することが可能です。3.5mm のケーブルの場合は付属の AV 変換ケーブルを使用してください。外部モニターに出力中は本機のモニターは動作しません。ケーブルによって極性が異なることがありますので、出力されない場合は逆に接続してみてください。

※操作は本体で行ってください。



△注意

■映像のみのケーブル (1 極) タイプ
や 4 極タイプ (赤・白・黄) のケーブルでは動作しません。

GPS 機能を使う

本製品は GPS 機能を有しており、日時合わせを自動的に行ったり、速度も表示できます。また、“速度超過警報”“車線逸脱警報”“車間距離警報”“出発遅延警報”“専用ビューアー画面で詳細な情報を見る”の機能が使用できます。

速度超過警報

(1) ビデオメニューで“速度超過警報”の設定をします。(P. 48、51 参照)

(2) GPS 測位していることを確認します。(GPS アイコンが緑で点灯)

※ GPS を測位すると音声で“GPS を測位しました”とアナウンスします。

(3) 速度が設定値を超えると専用アラーム音で警報をします。



速度表示

※ GPS を測位しているとき機能します。GPS 測位していない場合は機能しません。(GPS アイコンが白の時)

※ 周辺部に金属やゴムなどの障害物がこないようにしてください。

※ ビルの谷間、高速道路の高架下、森林等は GPS が受信しにくい場合があります。

※ GPS ユニートを抜き差しする場合は必ず電源を切ってください。

GPS 機能を使う

車線逸脱警報

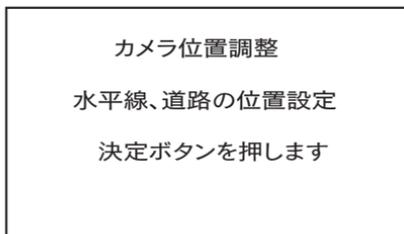
△ 注意

- ・ 車線逸脱機能は安全運転の補助として使用してください。事故を未然に防止するものではありません。日頃から安全運転を心がけてください。
- ・ 設定は安全な場所で行ってください。また、平坦な場所で行ってください。

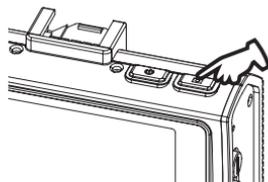
- (1) ビデオメニューで車のタイプを設定します。本体の取付高さを車種から選択します。(P.48、50 参照)
 - ・ セダン・・・1.2 m前後
 - ・ SUV・・・1.5 m前後
 - ・ トラック・・・1.8 m前後
- (2) 車線逸脱の位置設定と動作

● 設定方法

1. ビデオメニューで位置設定を選択します。(P.48、51 参照)
下記画面が表示されます。

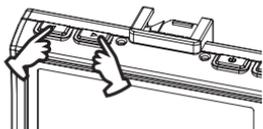


2. 記録 / 確定ボタンを押します。
下記画面が表示されます。

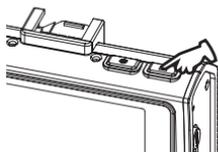


3. 本体を動かし、水平線を赤線に合わせます。

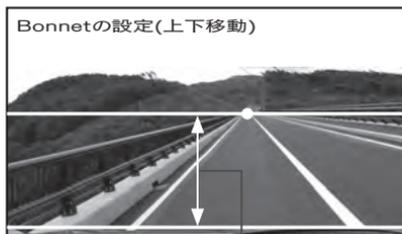
4. ◀ ▶ ボタンで緑線を道路の車線に合わせます。



5. 記録 / 確定ボタンを押します。

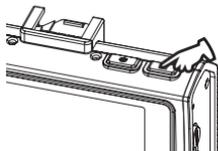


Bonnet の設定画面になります。

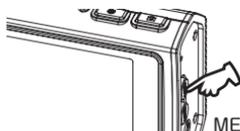


6. ◀ ▶ ボタンで赤線を画面の中の車両が映っていない位置に合わせます。

7. 記録 / 確定ボタンを押します。
ビデオメニュー画面に戻ります。



8. 終了する場合は MENU ボタンを 2 回押しします。

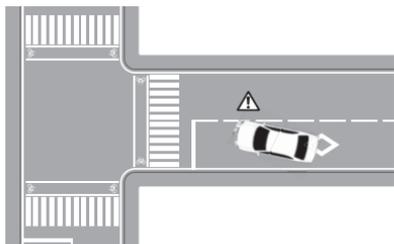


MENU ボタンを 2 回押す

GPS 機能を使う

●車線逸脱の動作

1. ビデオメニューで車線逸脱警報の車線識別感度を設定します。(P.48、51 参照)
2. GPS 測位していることを確認します。(GPS アイコンが緑で点灯)
3. 車両速度が時速 60km/h 以上で車線逸脱をするとラインが青から赤に変わり、専用アラーム音で警報します。



車線逸脱警報は時速 60km/h 以上で動作します。



はみだしたほうのラインが青から赤に変わります。

- ※ GPS を測位しているとき機能します。GPS 測位していない場合は機能しません。(GPS アイコンが白の時)
- ※周辺部に金属やゴムなどの障害物がこないようにしてください。
- ※ビルの谷間、高速道路の高架下、森林等は GPS が受信しにくい場合があります。
- ※ GPS ユニートを抜き差しする場合は必ず電源を切ってください。
- ※ウインカーと連動していないため、通常車線変更時も警報します。
- ※悪天候、積雪、逆光、夜間等では正常に動作しない場合があります。
- ※白または黄の直線、破線以外の形状の車線は動作しない場合があります。
- ※車線がなかったり、色あせて識別が困難な道路では正常に動作しない場合があります。
- ※回転角が大きな道路区間では、正常に動作しない場合があります。
- ※フロントガラスに物体が映った場合、正常に動作しない場合があります。

車間距離警報

走行中に前車と接近しすぎた場合に、表示とアラームで警報します。

- (1) ビデオメニューで車のタイプを設定します。本体の取付高さを車種から選択します。
(P.48、50 参照)
 - ・セダン・・・1.2 m前後
 - ・SUV・・・1.5 m前後
 - ・トラック・・・1.8 m前後
- (2) 位置設定をします。(P.40 車線逸脱の位置設定と同様の操作)
- (3) ビデオメニューで“車間距離警報”の設定をします。(P.48、51 参照)
- (4) GPS 測位していることを確認します。(GPS アイコンが緑で点灯)
- (5) 設定速度以上で走行中、前車に接近すると、専用アラーム音で警報をします。
 - ※前方車両を検知すると、車のアイコンが表示されます。
 - ※車のアイコンのランプが黒から赤に変わります。
 - ※警報後、車間距離がさらに縮まった場合、再び警報をします。



赤で点灯

- ※ GPS を測位しているとき機能します。GPS 測位していない場合は機能しません。(GPS アイコンが白の時)
- ※周辺部に金属やゴムなどの障害物がこないようしてください。
- ※ビルの谷間、高速道路の高架下、森林等は GPS が受信しにくい場合があります。
- ※ GPS ユニットを抜き差しする場合は必ず電源を切ってください。
- ※悪天候、積雪、逆光、夜間等では正常に動作しない場合があります。
- ※前方車両の色が周辺の色と区別がつかない場合、正常に動作しない場合があります。
- ※フロントガラスに物体が映った場合、正常に動作しない場合があります。
- ※状況により、対向車にも反応する場合があります。
- ※牽引車、貨物トラックなど前方車両の後尾が一般車両と異なる場合、正常に動作しないことがあります。

GPS 機能を使う

出発遅延警報

信号待ち等で停車している状態で、前車が発進しても自車が停止したままの場合、表示とアラームで警報します。

- (1)ビデオメニューで車のタイプを設定します。本体の取付高さを車種から選択します。
(P.48、50 参照)
・セダン・・・1.2 m前後 ・SUV・・・1.5 m前後 ・トラック・・・1.8 m前後
- (2)位置設定をします。(P.40 車線逸脱の位置設定と同様の操作)
- (3)ビデオメニューで“出発遅延警報”の設定を ON にします。(P.48、51 参照)
- (4)GPS 測位していることを確認します。(GPS アイコンが緑で点灯)
- (5)前車が発進して、5 秒経過しても自車が発進しないと表示と専用アラーム音で警報をします。
※ ▲アイコンが表示されます。



アイコン点灯

- ※ GPS を測位しているとき機能します。GPS 測位していない場合は機能しません。(GPS アイコンが白の時)
- ※周辺部に金属やゴムなどの障害物がこないようにしてください。
- ※ビルの谷間、高速道路の高架下、森林等は GPS が受信しにくい場合があります。
- ※ GPS ユニートを抜き差しする場合は必ず電源を切ってください。
- ※悪天候、積雪、逆光、夜間等では正常に動作しない場合があります。
- ※前方車両の色が周辺の色と区別がつかない場合、正常に動作しない場合があります。
- ※フロントガラスに物体が映った場合、正常に動作しない場合があります。
- ※牽引車、貨物トラックなど前方車両の後尾が一般車両と異なる場合、正常に動作しない場合があります。

専用ビューアー画面で詳細な情報を見る

弊社ホームページより専用ビューアーソフトをダウンロードすることで、記録した映像を Google Map と連動させて表示することができます。その他、走行スピード表示、G センサーグラフを表示できます。

※詳細はホームページを参照してください。

※ビューアー画面のデザイン等は変更する場合があります。



Google Map 上に自車位置が表示
※ GPS が測位していない場合は
表示されません。

ファイル名、録画タイプ
ファイルサイズを表示

スピード表示
※ GPS が測位していない場合は
表示されません。

G センサーデータを X 軸、Y 軸、Z 軸
でグラフ表示します。

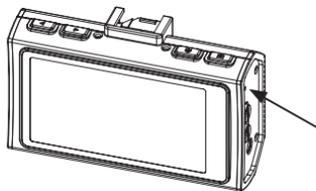
その他の機能

初期化（リセット）について

本機が正常に動作しない場合やフリーズした場合には初期化を行います。本体側面のリセットホールのリセットスイッチをクリップの先などで押してください。

リセットをすると、正しく電源が再起動されます。

初期化を行っても問題が解決されない場合は、SD カードを抜いて再度リセットをして確認します。SD カードを抜いて正常に動作する場合はパソコンなどで SD カードをフォーマットしてください。

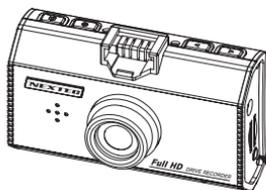


ボタン操作を無効にする

本機のボタン操作を無効にすることができます。

■設定方法

- ・キーロックボタンをボールペン等の先で 2 秒以上押す。画面にキーロックのアイコンが出ます。



2 秒以上押す



■解除方法

- ・キーロックボタンを 2 秒以上押す
画面にキーロックのアイコンが消えます。

本体ソフトウェアのアップデート

本体のソフトウェアがバージョンアップされた場合、弊社ホームページに掲載します。ソフトをダウンロードすることで最新のバージョンにすることができます。

※詳細はホームページを参照ください。

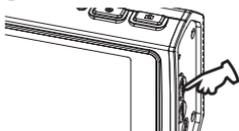
各種設定

各種設定を行う場合は、記録 / 確定ボタンを押して録画を停止してください。

1. ビデオメニュー

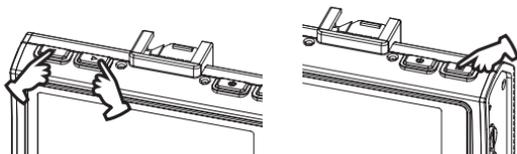
設定手順

1. **MENU** ボタンを押し、ビデオメニューを表示する

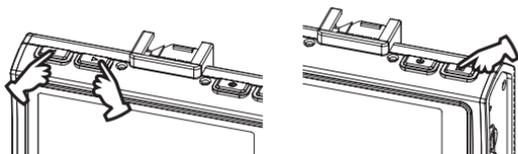


ビデオ		
▲	画質設定	FHD
1/4	明るさの設定	0
	G-SENSOR感度	3
▼	動体検知	3

2. ◀ ▶ ボタンを押し、設定したい項目を選択して **記録 / 確定** ボタンを押す



3. ◀ ▶ ボタンを押し、お好みの設定を選択して **記録 / 確定** ボタンを押して確定させる



※確定後は、ビデオメニューに戻ります。
終了する場合は MENU ボタンを 2 回押します。

■ビデオメニューの設定項目

解像度を設定

画質設定

録画する画像の解像度を設定します。解像度を上げると録画時間が短くなり、下げると長くなります。

FHD (1920 x 1080)	高画質 (初期設定)
HD (1280 x 720)	長時間

画像を明るく・暗く

明るさの設定

マニュアルで露出補正を設定できます。

設定値	-1.0/-0.7/0/0.7/1.0
-----	---------------------

初期値：0

Gセンサーによる衝撃感度の設定

G - SENSOR 感度

Gセンサーは、事故や衝突など一定以上の衝撃が加わると録画中のファイルがEventフォルダに保存される機能です。Gセンサーの感度は5段階調整できます。

※ SDカードの容量の約20%を超えると古いファイルから上書き保存されます。

※ 衝撃の度合いや方向によってはGセンサー設定値より一定以下の場合、衝撃検知録画として保存されない場合があります。

設定値	OFF、1～5(数値が大きいほど敏感度)
-----	----------------------

設定1:3G 設定2:2G 設定3:1G(初期値)
設定4:0.7G 設定5:0.4G

動きを検出して録画を開始する

動体検知

駐車時の画像の動きを検知しParkingフォルダに記録保存されます。機能をONに設定すると、画像の中に動くものが検出された場合に記録を開始します。

設定値	OFF、1～3(数値が大きいほど敏感度)
-----	----------------------

初期値：3

※ 動体検知機能はカメラに写っている画像の中の動き(輝度の変化)を検知します。動くものがあつた時に自動的に電源がONになるものではありません。また、遠くのものなど画面に占める割合が少ない場合や動きが連続しない場合などには反応できない場合があります。

※ 動体検知の反応感度の設定は、保存領域設定を駐車録画有効に設定してから行ってください。(P.18 保存領域の設定、P.21 動体検知の設定を参照してください)

映像と同時に周囲の音を録音

音声録音

サウンドレコーディング機能で、映像とともに音声や車の中の音を同時に記録するかどうかが選択できます。

ON	音声を記録する (初期設定)
OFF	音声を記録しない

各種設定

パーキングモード時の監視時間を設定

駐車ブロック時間

駐車時の監視時間を設定できます。設定時間を超えると電源を OFF します。

※ P.22 駐車ブロック時間の設定参照

設定値	6/12/24/48 時間
-----	---------------

初期値：6 時間

パーキングモード時のバッテリー電圧設定

駐車ブロック電圧

設定電圧以下になると本体の電源を OFF します。

※バッテリー上がりを防止する機能。

※ P.23 駐車ブロック電圧の設定参照

設定値	23.8/24.0/24.2/24.4/ 24.8V
-----	-------------------------------

初期値：24.2V

※ 12V 車の場合は電圧表示が自動的に下記ようになります。

11.8/12.0/12.2/12.4/12.8V
(初期値：12.2V)

※ 駐車時のバッテリー電圧が設定値以下の場合、パーキングモードは動作しません。

※ 設定値が 23.8V(11.8V) でもパーキングモードが動作せず、電源が OFF する場合は、使用できません。バッテリーが劣化している可能性があります。バッテリーチェックを行ってください。

パーキングモード時の本体温度の設定

駐車ブロック温度

本体の温度が設定温度以上になると本体の電源を OFF します。

※ 駐車時の本体温度の異常上昇を監視する機能です。

※ P.24 駐車ブロック温度の設定参照

設定値	60/70/80/85°C
-----	---------------

初期値：70°C

車のタイプを設定

車のタイプ

“車線逸脱警報” “位置設定” “車間距離警報” “出発遅延警報” 機能の設定精度を上げるために設定します。本体の取付高さを車種から選択します。

設定	セダン /SUV/ トラック
----	----------------

初期値：セダン

車線逸脱警報の車線識別感度を設定

車線逸脱警報

“車線逸脱警報”を行う場合の車線識別感度を設定します。

設定値	OFF/ 鈍感 / 通常 / 敏感
-----	-------------------

初期値：OFF

車線逸脱の詳細設定

位置設定

“車線逸脱警報” “車間距離警報” “出発遅延警報” のカメラの位置を調整します。

※詳細は P.40 を参照してください。

※外部モニターで使用した場合、“位置設定” の表示は出ません。

車間距離警報をする

車間距離警報

“車間距離警報” の動作速度を設定します。

設定値	OFF、10km/h、20km/h 30km/h、40km/h、60km/h
-----	---

初期値：OFF

設定速度以上で警報をします。

※詳細は P.43 を参照してください。

設定速度を超えると警報する

速度超過警報

“速度超過警報” の設定をします。

設定値	OFF、60km/h、80km/h 100km/h、120km/h
-----	--------------------------------------

初期値：OFF

※詳細は P.39 を参照してください。

発進の遅れを警報する

出発遅延警報

“出発遅延警報” の ON/OFF を設定します。

信号待ち等で前車が発進して 5 秒以上自車が発進しない場合、警報をします。

ON	警報をする
OFF	警報をしない (初期設定)

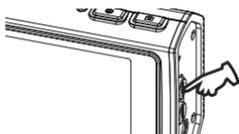
※詳細は P.44 を参照してください。

各種設定

2. 設定メニュー

設定手順

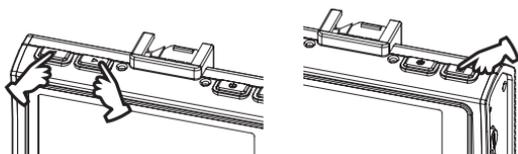
1. **MENU** ボタンを2回押して設定メニューを表示させる



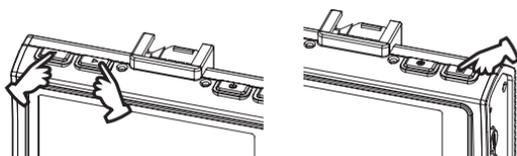
設定メニュー

設定		
▲	日付と時刻	
1/3	日時表示	Y/M/D
	言語を選択	日本語
▼	ボリュームの設定	3

2. ◀ ▶ ボタンを押し、設定したい項目を選択して **記録/確定** ボタンを押す



3. ◀ ▶ ボタンを押し、お好みの設定を選択して **記録/確定** ボタンを押して確定させる



※確定後は、設定メニューに戻ります。
終了する場合は **MENU** ボタンを押します。

■設定メニューの設定項目 (MENU ボタン 2 回押し)

日付と時刻を設定

日付と時刻

映像に記録する日時を設定をします。
本製品は GPS ユニットを搭載して
いますので、自動取得できます。

日時の表示形式を設定する

日時表示

- ・ Y/M/D(年/月/日) 初期設定
- ・ M/D/Y(月/日/年)
- ・ D/M/Y(日/月/年)
- ・ なし(表示しない)

言語を選択

言語を選択

メニューや警告などの表示言語を選択
できます。

選択可能な言語は日本語(初期設定)と
English(英語)です。

音量の設定

ボリュームの設定

音声案内やアラーム音の音量を調節し
ます。

設定値	OFF/1 ~ 5
-----	-----------

初期値：3

映像モードを切り替える

TVモード

映像を AV 出力端子から出力する場合の
方式 (NTSC/PAL) を選択できます。

日本国内では NTSC 方式を選択して
ください。

NTSC	(初期設定)
PAL	

設定を工場出荷状態に戻す

初期化

本機の設定を工場出荷状態に戻します。

はい

いいえ

各種設定

ファイル保存領域の設定

保存領域設定

各録画方法の保存領域を選択します。

保存割合 (常時 / 衝撃 / 手動 / 駐車)%
75/20/5/0 (初期設定)
60/20/5/15
20/75/5/0
20/60/5/15
20/20/5/55

※保存領域を変更する場合は、SD カードをフォーマットする必要があります。大切なデータはパソコン等に保存してください。

※詳細は P.18 パーキングモード設定を参照してください。

ソフトウェアのバージョンを確認

バージョン

本機ソフトウェアのバージョン情報を確認できます。

SD カードを初期化する

フォーマット

SD カードの初期化を行います。SD カードを初期化すると、記録したデータ(ロックファイルを含みます)は全て消去されます。必要なデータは初期化する前にあらかじめパソコンなどに保存しておいてください。

はい
いいえ

記録時間の目安

FHD(1920 × 1080) の場合

記録領域割合 %	SD カード容量	常時録画	衝撃録画	手動録画	駐車録画	合計
75/20/5/0	32GB × 1	12 時間 24 分	3 時間 20 分	48 分	-	16 時間 32 分
	64GB(32GB × 2)	24 時間 48 分	6 時間 37 分	1 時間 39 分	-	33 時間
60/20/5/15	32GB × 1	9 時間 55 分	3 時間 20 分	48 分	2 時間 28 分	16 時間 32 分
	64GB(32GB × 2)	19 時間 51 分	6 時間 37 分	1 時間 39 分	4 時間 57 分	33 時間
20/75/5/0	32GB × 1	3 時間 20 分	12 時間 24 分	48 分	-	16 時間 32 分
	64GB(32GB × 2)	6 時間 37 分	24 時間 48 分 (約 3000 件)	1 時間 39 分	-	33 時間
20/60/5/15	32GB × 1	3 時間 20 分	9 時間 55 分	48 分	2 時間 28 分	16 時間 32 分
	64GB(32GB × 2)	6 時間 37 分	19 時間 51 分	1 時間 39 分	4 時間 57 分	33 時間
20/20/5/55	32GB × 1	3 時間 20 分	3 時間 20 分	48 分	9 時間 6 分	16 時間 32 分
	64GB(32GB × 2)	6 時間 37 分	6 時間 37 分	1 時間 39 分	18 時間 12 分	33 時間

HD(1280 × 720) の場合

記録領域割合 %	SD カード容量	常時録画	衝撃録画	手動録画	駐車録画	合計
75/20/5/0	32GB × 1	21 時間 27 分	5 時間 43 分	1 時間 25 分	-	28 時間 36 分
	64GB(32GB × 2)	42 時間 54 分	11 時間 26 分	2 時間 56 分	-	57 時間 12 分
60/20/5/15	32GB × 1	17 時間 10 分	5 時間 43 分	1 時間 25 分	4 時間 17 分	28 時間 36 分
	64GB(32GB × 2)	34 時間 19 分	11 時間 26 分	2 時間 56 分	8 時間 34 分	57 時間 12 分
20/75/5/0	32GB × 1	5 時間 43 分	21 時間 27 分	1 時間 25 分	-	28 時間 36 分
	64GB(32GB × 2)	11 時間 26 分	42 時間 54 分 (約 5000 件)	2 時間 56 分	-	57 時間 12 分
20/60/5/15	32GB × 1	5 時間 43 分	17 時間 10 分	1 時間 25 分	4 時間 17 分	28 時間 36 分
	64GB(32GB × 2)	11 時間 26 分	34 時間 19 分	2 時間 56 分	8 時間 34 分	57 時間 12 分
20/20/5/55	32GB × 1	5 時間 43 分	5 時間 43 分	1 時間 25 分	15 時間 45 分	28 時間 36 分
	64GB(32GB × 2)	11 時間 26 分	11 時間 26 分	2 時間 56 分	31 時間 27 分	57 時間 12 分

※記録時間は目安であり、ご使用の環境、映像の内容等によって大きく変わります。

※ SD カードの容量がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。

故障かな？と思ったら

電源が入らない

- カー電源コードが電源端子にしっかり接続されていない。
⇒カー電源コードを電源端子にしっかりと接続してください。
- カー電源コードが車のシガーライターソケットにしっかり接続されていない。
⇒カー電源コードを車のシガーライターソケットにしっかり接続してください。
- カー電源コード先端に入っているヒューズが切れている。
⇒新しいヒューズと交換してください。

映像が記録できない

- SDカードが挿入されていない。
⇒カードを本体に挿入してください。
- SDカードに異常があると映像記録ができなくなります。“SDカードエラーです”とアナウンスされる。
⇒その場合はSDカードをフォーマットしてから本体に挿入してください。
※SDカードは1から2週間を目安にフォーマットをしてください。

動画再生で映像が飛んだり、カクカクする

- SDカードのスピードクラスが足りていない。
⇒P.49 解像度の設定を下げるかSDカードを交換してください。

冬期電源を入れた直後画面が暗い

- 液晶画面の性質上、画面が温まるまでは暗い状態が続きます。

画面にドット欠損
(輝点・滅点)がある

●液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。

日時表示が違う

●内蔵の充電式バッテリーが放電してしまっている。
⇒本体に電源が入った状態でしばらく充電してからGPS測定後、日時を確認してください。(P.16) 充電しても初期値に戻ってしまう場合は内蔵の充電式バッテリーの寿命ですので交換が必要になります。

操作を受け付けない

●SDカードが壊れている可能性があります。
⇒SDカードを抜いて動作をする場合には、SDカードが壊れている可能性があります。

●ボタン操作が無効になっている。
⇒画面にキーロックアイコンが表示されている場合は、ボタン操作が無効になっています。キーロックを解除してください。(P.46)

●内部コンピュータの異常
⇒リセットホールのリセットスイッチをクリップの先などで押してください。(P.46)

それでも
動かないときは

〒194-0037
東京都町田市木曽西 2-3-8
株式会社 エフ・アール・シー サービス課
TEL : 042-793-7746
土日祝日及び弊社休業日を除く
【10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00】

主な仕様

外形寸法	: 約 79 (幅) × 49 (高さ) × 25 (奥行) mm 突起部除く
本体質量	: 約 80g (microSDHC カード含む)
記録媒体	: microSDHC カード (32GB 付属) 4 ~ 32GB 対応 (Class10 以上)
撮像素子	: 200 万画素 CMOS
レンズ画角	: 水平 約 110 度 垂直 64 度 (130 度対角)
最大記録画角	: 水平 約 110 度 垂直 60 度
記録解像度	: 1920 × 1080(Full HD) 1280 × 720(HD)
GPS	: 有り
G センサー	: 有り (オフ、0.4G/0.7G/1G/2G/3G) 5 段階調整
記録方式	: 常時録画、イベント記録 (G センサー、手動) 駐車録画 (衝撃 0.2G 固定、動体検知)
録画ファイル構成	: 常時録画 1 分、イベント録画 (G センサー、手動)30 秒 (最大 2 分) 駐車録画 (衝撃、動体検知)36 秒 (最大 100 秒)
画面サイズ	: 2.7 インチ液晶モニター
音声	: ON/OFF 可能
フレームレート	: 27.5fps
映像ファイル形式	: 動画 AVI(H.264)
記録映像再生方式	: AVI(H.264) 動画再生ソフト
電源電圧	: DC12/24V
バックアップ電源	: スーパーキャパシタ方式 / ボタン充電電池 (時計用)
消費電流	: 約 180mA(DC12V 時)、約 100mA(DC24V 時) 約 130mA(DC12V 駐車録画動作時) 約 8mA(DC12V 駐車録画待機時)
動作温度範囲	: -10 ~ +60°C
商品保証期間	: 3 年間 (microSDHC カード等消耗品除く)
言語	: 日本語 / 英語
付属品	: 取付けステー (GPS ユニット内蔵) × 1、両面テープ × 1 カー電源コード × 1、AV 変換ケーブル × 1 microSDHC カード (32GB) × 1、エレクトロタップ × 2 取扱説明書 × 1

※商品の仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

保証規定

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され合格したのですが、万一ご購入後3年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。

なお、次に記載した場合の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

- ① 使用上の誤り、不当な改造や修理などによる故障および損傷。
 - ② ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - ③ 火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、電圧、周波数使用およびその他の天変地異などによる故障および損傷。
 - ④ 本保証書のご提示がない場合。
 - ⑤ 本保証書の所定事項が未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。
- ※本保証書は日本国内においてのみ有効です。

- 使用上修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。
- その際は問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現方法についてできるだけ詳しくお書きください。
- 必要なファイルは、必ずお客様にてバックアップをお取りください。お預かりしたデータの保証はいかなる場合でもできません。
- 保証は不具合が発生した製品を販売店にお持込いただくか、弊社宛てに送付していただき、修理もしくは代品との交換によるセンドバック方式となります。
- 出張修理は行っておりません。
- 保証の範囲は商品のみを保証となり、取り付けや取り付けにかかる費用の保証や商品を使用する事により発生した商品以外への損害についての保証は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。

※あらかじめご承知いただきたいこと

- ・ 修理の時、一部代替品を使わせていただくことや修理品に変わって同等品と交換させていただきます。
- ・ 出張による修理は一切致しませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本取扱説明書の内容は、機能改善のため予告なく変更する場合があります。

※ SD カード、両面テープは消耗品につき初期故障（使用開始後 10 日間）のみ保証します。

【サポート問い合わせ先】

株式会社 エフ・アール・シー サービス課

TEL : 042-793-7746 土日・祝日及び弊社休業日を除く【10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00】



品質保証書

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され、それに合格したものです。万一、ご購入後3年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。修理の際には、本製品をご購入いただいた販売店に、必ず本保証書をご持参の上ご依頼ください。本保証書のご提示のない場合には全額有償となりますので、本保証書は大切に保存してください。

■保証期間中は：

保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参いただくか、弊社宛てに症状をお書き添えの上送付願います。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは：

お買い求めの販売店、または弊社サービス課にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

商品名	ドライブレコーダー		NX-DR201DRT
保証期間	3年間 (消耗品除く)	購入年月日	年 月 日
お客様	ご住所		
	TEL.		
	お名前		
販売店	住所		
	店名		
			(印)

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

F.R.C. CO., LTD.

株式会社エフ・アール・シー

〒194-0037 東京都町田市木曽西 2-3-8

URL <http://www.frc-net.co.jp>



4-244-001